

## ベトナムのカーボンニュートラル市場

ベトナムは、2050年までに温室効果ガス(GHG)排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の達成を目指し、カーボンクレジット市場の整備を進めています。2022年1月7日に政令第6号(No.06/2022/ND-CP)が発表され、カーボンクレジット市場の設立と発展に向けたロードマップが示されました。この政令では、2025年から2027年にかけて試験運用を行い、2028年から正式運用を開始する計画が明記されています。

2025年1月24日、チャン・ホン・ハー副首相は、カーボンクレジット市場の設立と発展に関する提案を承認する決定第232/QĐ-TTgに署名。この提案の主な目的は、GHG排出削減のための法的枠組みを整備し、低コストでの削減を支援するとともに、新たな資金源を創出することです。具体的には、2025年6月までにGHG排出枠やカーボンクレジットの取引に関する法的枠組みを完成させ、カーボンクレジット取引所の試験運用を開始する予定です。この取引所は、ハノイ証券取引所(HNX)が運営を担当し、2025年から2028年までの試験期間を経て、2029年から正式に運用される計画です。

取引対象となるのは、政府が割り当てたGHG排出枠と、国内外のプロジェクトから得られるカーボンクレジットです。これには、国内の削減プロジェクトによるクレジットだけでなく、日本のJCM(二国間クレジット制度)やパリ協定第6条に基づく国際的なクレジットも含まれます。

ベトナムでは、既にカーボンクレジットの取引が始まっています。2020年10月には、世界銀行(WB)と1,030万トンのカーボンクレジットの譲渡契約を締結し、2024年3月までに5,150万ドルを得ました。この資金は、北中部地域の6つの省に分配され、約7,000の森林所有者が恩恵を受けています。バクリエウ省では風力発電プロジェクトを通じて99万トンのクレジットを創出するなど、再生可能エネルギー分野でも取引が進行中です。

しかし、ベトナムのカーボンクレジット市場には課題も存在します。2029年に予定されている市場の正式運用開始までの間に、法的枠組みやインフラの整備、企業や個人の意識向上が求められます。国際的なクレジットとの連携や、取引の透明性・信頼性の確保も重要な課題です。これらの課題に対応するため、政府は関連法規の整備や市場インフラの構築、関係者の能力向上など、多角的なアプローチで取り組んでいます。

豊かな自然環境に恵まれ、再生可能エネルギー分野にも意欲的に取り組むベトナムは、カーボンクレジット市場でも注目を集めています。今後の同市場の発展が期待されます。

### 大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク

#### 株式会社 NC ネットワーク (ベトナム: NC Network Vietnam JSC.)

日本事務所：東京都台東区東上野1丁目14番5号 ユーエムビル8階

ベトナム事務所：48, No.5 Street, Him Lam, Tan Hung Ward, District 7, Ho Chi Minh, VIET NAM